



校  
報

# けむやま

矢巾町立煙山小学校  
H29.9.22(金) 第10号  
紫波郡矢巾町北矢幅 1-2  
Tel.697-3163

## 歴史的快挙

## 吹奏楽部東北大会銀賞受賞

高め合おう  
礼節を重んじ美しく

本校に吹奏楽部が特設されたのが平成2年。その後平成7年に東北大会銀賞受賞を最高に、昨年度東北大会に出場したものの惜しくも銀賞に甘んじました。[ ]部長が言いました。「昨年がまぐれでないことを証明するためにも、昨年の銀賞を超える結果を残せるような演奏をします。お客さんを感動させることなら東北で一番だと思っています。」と。

9月9日。仙台市の仙台銀行ホールイズミティ21で行われた、全日本吹奏楽コンクール第60回東北大会。東北6県から18団体が参加。煙山小学校は10番目の演奏でした。タリララ〜ラ〜ラタリララ〜(どんなメロディーかわからないと思いますが…)。ホルンのソロの流れるような前奏から始まる「喜歌劇『微笑みの国』セレクション」。普段の練習の様子から、地区大会、県大会と何度も耳に慣れたメロディーです。

感動はやがて覚めるものであり、追体験する感動は前回より萎(しぼ)んでしまうものです。それと相まって、失敗がないだろうかと心配で、聞く側にとっては曲に浸って鑑賞する気になれないのが普通ではないでしょうか。

個人情報規定により  
写真非公開とする

個人情報規定により  
写真非公開とする

高橋町長さんから励ましの言葉をいただきました。

ところが、どうでしょう。始めのメロディーから引き込まれてしまいました。さらには、中盤から県大会とは趣の違う曲想、そして、盛り上がり。進化を遂げた「微笑みの国」に、胸が熱くなる新鮮な感動を味わいました。

観客は正直です。演奏が終わった瞬間、子供たちが起立する前に会場から大きな拍手が沸き起こりました。その拍手とともに、演奏を終えてボロボロ泣きながら退場してくる子供たちの姿から、審査結果を超えた成就感、満足感を感じ取ることができました。

この栄冠の陰には、子供たちの頑張りと共に、町の大きな後押しもありました。高橋町長さんへの表敬訪問の折に力強い励ましとご支援も賜りました。心から御礼申し上げますと存じます。音楽の町として、いくらかでもそのご期待にお応えできたのではないかと思います。さらには、保護者会の皆様の日頃の支えにも感謝申し上げます。

目に見えない土中の根っこのひろがりが大樹を育てると申します。この度の煙山小学校吹奏楽部の快挙は、地域全体の多くの熱い思いによるものであり、それがひとえに煙山小学校の校史に輝きを添えるものであると考えます。あらためて心から御礼を申し上げます。メモリアルコンサートには皆さんどうぞおいでください。

審査員池田幸広先生(NHK交響楽団)の講評  
【技術10 表現10 満点!】  
・とてもゴージャスなサウンドに感心しました。小学生とは思えません。  
・曲の理解も素晴らしく、美しさと激しさ、勢いなどしっかり表現できていたことに驚きました。  
・とても感動的な演奏でした。素晴らしかったです。